

令和4年度第2回林業アカデミーふくしま運営会議 議事概要

- 1 日 時 令和5年2月2日（木） 13：30～15：30
- 2 場 所 林業アカデミーふくしま講義室（県林業研究センター敷地内）
- 3 出席者 別紙出席者名簿のとおり

4 結 果

（司会進行：伊藤主任主査）

○挨拶 柳田農林水産部森林林業担当次長

就業前長期研修一期生となる14名の研修生はこれまでに各種研修やインターンシップなどに日々努力、実践力を着実に身につけている。また、今年で2年目となる短期研修では、市町村林務担当者や林業従事者等、多くの方々に受講いただき、実務で必要となる知識や技術などを学んでいただいた。

本日は、令和5年度の研修計画等について委員の皆様より御意見や御助言をいただきたいと考えている。限られた時間ではあるが、皆様には忌憚のない御意見を賜るようお願い申し上げます。

○議事（議事進行：金子座長）

議題（1）、（2）（下半期研修実施状況等）

【事務局】

（資料1～4に基づき説明）

【委員の意見】

〈飯沼委員〉

資料2 短期研修の「路網整備と作業システム（実践）」について、実践とこのことなので、林地の条件に適した作業システムの検討等も内容に加えるべきではないか。

〈平子委員〉

当該研修については、似たような研修を民間事業者が実施していた記憶がある。内容がかぶるのであれば、講座実施の必要性を再検討すべき。

《事務局》

本研修については、講師の都合で日程が延期となったこと、今年度に関しては実施時期が繁忙期となったこと、研修時間が長いといった点が受講のハードルとなったと考えている。研修の実施方法等検討したい。

〈丹治委員〉

資料4において、就業希望先の「民間企業」とはどのような業種か。

《事務局》

主に素材生産を行っている企業が多い。日頃の様子を見ても、伐倒作業に興味のある研修生が多いため、就業希望としてそのような企業が多いのだと考える。

〈田子委員〉

資料1の4「造林・更新」において、植栽に使用した樹種は何か。また、喜多方で秋植えの時期に行ったとのことだが、地域の気象条件等加味し秋植えにしたのか。

《事務局》

植栽にはスギコンテナ苗を400本、ヒノキ裸苗を45本使用した。

植栽場所については、研修を実施できる場所が限られたというのが正直なところ。時期についても、研修運営上春植えは厳しいので秋植えとしたところ。

〈金子座長〉

春植えの時期に植栽を実施して研修生自ら活着状況を確認できるようにできれば理想か。

〈金子座長〉

研修生は希望どおりの就業先に就業できる見込みか。

《事務局》

体力的な面で不安があり就職先に悩んだ研修生もいたが、現在は全員希望どおり就業できる予定。

〈須藤委員〉

研修生の就職先を公表する予定はあるか。公表することで他の事業体にも求人等波及する効果が出ると思うので、就職先の公表について検討いただきたい。

《事務局》

公表する方向で検討したい。

議題（3）次期長期研修生の応募状況

【事務局】

（資料5に基づき説明）

【委員の意見】

〈飯沼委員〉

以前の運営会議では補欠合格のような仕組みを導入するとのことだったが、実際に導入はしたのか。

《事務局》

仕組み自体は導入したが、一般前期試験では補欠合格者はおらず、試験結果等総合的に勘案して合格者を7名にした。

〈金子座長〉

県で毎年新規就業者数を調査していると思うが、そのうちのアカデミー修了生の割合が見えてくるとアカデミーの効果が目に見えるようになると思う。

《事務局》

検討したい。なお、新規就業者数は暦年で調査しているため、今回の修了生が含まれるのは令和6年度の調査からとなる。

議題（４）、（５）（令和５年度研修計画等）

【事務局】

（資料６～９に基づき説明）

【委員の意見】

〈飯沼委員〉

研修全体として、まずは就業前長期研修で個々の技能を習得し、就業後も短期研修の受講等を通じて技術に昇華していくという流れと思う。研修生にもそのような人材育成の進め方を共有していただきたい。

《事務局》

３月にも研修生との面談がある。そのような機会をとらえて共有していきたい。

〈丹治委員〉

伐木造材に関する研修がかなり増えているが、どのような人材の育成を目指すのか議論をすべきではないか。

〈平子委員〉

変更後のカリキュラムでも即戦力となる人材の育成は難しい。まずは安全を最優先し幅広い知見を有した人材を育成すべき。

〈田子委員〉

即戦力育成という視点だけを考えれば、高所作業の資格や架線集材の実習等は必要性が低くみられてしまう内容だが、危険木の処理や急峻な現場での作業等考えるといずれも必要となるもの。幅広く学んでもらえるカリキュラムとしてもらいたい。

〈平子委員〉

短期研修の１１と１５番の講座について、現在は外部講師に頼らざるを得ない部分もあると思うが、ゆくゆくは県が自立して講座を実施して欲しい。

〈平子委員〉

危険生物についての講義を追加するとのことだが、ヘビやハチは危険だと分かりやすい。一見危険性が分かりにくいウルシや毛虫なども内容に加えてもらいたい。

〈金子座長〉

安全ということで言うと、「安全の基礎」の時間が見かけ上減ってしまっているのが気になる。他の講座でも安全に関する内容を分散実施していると思うので、見せ方としてどのようにすべきか検討願いたい。

〈高木委員〉

伐木造材実習に関し、フィールドとして使用してもらった妙見山国有林を見てきたが、間伐としてももっと伐っても良い印象。数をこなすという意味でも、実際の立木を伐採する時間を充実させてほしい。

《事務局》

妙見山での伐木実習では、技術が未熟なこともありかかり木処理に時間をとられるといった状況もあった。班を増やすなど、効率的な実習を心がけたい。

その他委員からいただいた意見も踏まえカリキュラムの内容検討していきたい。

〈平子委員〉

アカデミーでハーベスタシミュレーターを導入したが、実際の現場ではプロセッサとフォワーダを扱う機会の方が多い。プログラムの更新等で他の林業機械のシミュレーターとしても使えないのか。

《事務局》

フォワーダについては、アカデミーで導入したシミュレーターでは対応できない。

プロセッサについては現場での作業をシミュレーションできるトレーニングメニューがあるので、対応は可能。

議題（7）その他

〈飯沼委員〉

研修生の日頃の様子を分かる範囲で伺いたい。

《事務局》

第一期生は自ら林業関係のイベントを企画するなど、自分自身で充実した研修生活になるよう精力的に取り組んでいる。

《事務局》

その他、令和5年度運営会議の予定について。

令和5年度第1回運営会議は8月に開催を予定している。

なお、本年3月31日をもって、現委員の委嘱任期が終了。2年間、貴重な御意見、御指導を賜り、感謝申し上げます。事務局としては、次期委員の委嘱等について、来年度早々に作業を進める予定。今後個別に御相談させていただく。引き続き御協力をお願い申し上げます。

以 上